

亜急性毒性試験

10. 亜急性毒性試験

(1) 90 日間亜急性毒性試験 (ラット)

Wistar ラット (一群雌雄各 10 匹) を用いた混餌 (原体: 0, 100, 500, 2000, 5000, 15000 ppm (雄: 0, 7, 34, 137, 347, 1060、雌: 0, 8, 40, 159, 395, 1230 mg/kg 体重/日に相当)) 投与による 90 日間亜急性毒性試験を実施した。

$0 < 100 < 500 \cdots < 15000 \text{ ppm}$ 用量を段階的に設定

毒性の特徴を明らかにするため、最高用量は通常の農薬の使用ではありえないような高用量を設定している。